

## かながわ子ども教室

# ニ ュ ー ス 第99号

### かながわ子ども教室 20 周年ご挨拶

かながわ子ども教室理事長 小島 啓三郎



かながわ子ども教室は 2004 年 8 月に発足以来、今年で 20 年になります。当初、海洋、環境、電気、宇宙、光学の 5 教科で発足し、10 周年のときは、科学教室が 17 教科、暮らしの教室が 6 教科で合計 23 教科となり、さらに今年度は科学教室が 21 教科、暮らしの教室が 4 教科の 25 教科となっています。

教室開催数は 10 周年の頃にイベントを含め 150 回のレベルになり、2017 年度には 156 回のピークとなりました。その後コロナ禍となり、大きく減少しましたが、今年度は 120 回を超えるレベルになりそうで、その中に占める学校の正規授業、理科クラブの比率も高くなってきております。

この間、2015 年と 2022 年に内閣府の社会参加活動事例として社会参加章をいただき、また、昨年は例年多額の助成金をいただいている公益財団法人東京応化科学技術振興財団から第 1 回科学技術の普及・啓発助成団体表彰の活動奨励賞をいただいております。

支援団体・先輩諸兄・現役会員の皆様のご尽力のおかげで当教室の内容も充実し、社会的認知度は確実に向上してきており、感謝申し上げます。

現在の大きな問題は会員数の確保と高齢化の進行です。10 周年のときは 47 名で平均年齢 73.3 歳でしたが、現在の会員数は 38 名、平均年齢も 77.5 歳となってきています。

この 10 年の間に、各企業の雇用延長が進み、60 代の元気な退職者の絶対数が減少したこと、そして、会員の高齢化により、現役社員との年齢差が拡大し、人脈が枯渇しつつあることが要因です。それに加え、コロナ禍により、当教室を PR するコミュニケーションの場が減少したことも大きいと考えています。

各社の OB 会や人事担当部署などに働きかけ、当教室への加入を呼びかけていますが、難しいものがあります。今後は、会員の個人的なつながりをさらに生かすこと、あるいは、マスコミなどへの積極的な働きかけも行っていく必要があると思っています。

会員全体の高齢化も大きな問題ですが、講師の高齢化は教室の質の維持・向上にとって大きな問題です。10 周年の時は講師 18 名のうち 75 歳以上は 5 名でしたが、現在は講師 17 名のうち 75 歳以上が 13 名となっています。

新入会員を増やすとともに、若手による（子供たちにとって）魅力的な教室の開発を進めていくことが会の継続の鍵となります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## ご挨拶

初代理事長 岡田 雅韶

歴代の代表、理事長を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

「かながわ子ども教室」は「ダイヤかながわ交流会」の社会貢献を目指した分科会として「外出支援の会」に次ぐ二番目の活動として発足しました。当初から今日までの様々な困難を乗り越えて今や20年。当初から「教室」に関わって来た者として感無量の思いです。

ここまで活動を続けてこられたのは発足当初から現在に至るまでの会員の皆様の熱意と力に依るものであることは言うまでもありません。それと併せて発足当初から助成金交付を通じて我々を応援して下さった皆様のお陰でもあります。

ダイヤ財団には「外出支援」の時の菱田さん、「子ども教室」が始まってからは蜂谷さん、小松さん、樋渡さん、佐藤さん、そして現在の高阪さん迄歴代の常務理事さんに応援頂きました。ダイヤ財団以外では独立行政法人「福祉医療機構」、続いて財団法人「長寿社会開発センター」、本日は当時お世話になった薬師寺さんにお越し頂いています。さらに「日本財団」、「神奈川県」。そして近年は公益財団法人「東京応化科学技術振興財団」に応援頂いています。これら諸団体の皆様には心から感謝しています。

ところで我々は子ども達に対して科学の不思議さ、面白さを伝える「科学教室」、世の中の大切なことに気付かせる「暮らしの教室」を開催していますが、これらによって我々は何をしようとしているのか？

言うまでもなく子ども達と我々との出会いはその教室の一度だけ。一期一会。つまり個々の子どもにとってこのおじさん、おばさん達との出会いは生涯ただ一度の出来事なのです。この子に、この生涯ただ一度の機会に、我々は何を提供できるのか？多くの知識を子ども達に与えようとするのはあまり意味があるとは思えない。

では何か？それは感動を与えることだと思います。「教室」が始まると子ども達が生き生きとした反応を示し始め何時の間にか「教室」に引き込まれていく。「教室」が子どもの興味、知的好奇心、感性を目覚めさせていくのです。これこそが我々の「教室」であって、これ程楽しい、面白いものはそうあるものではありません。

会員の皆さんには是非この楽しさ、面白さをお知り合いに伝えて、「来てご覧よ。面白いよ」と言って、男女経歴を問わず新しい仲間をこの会に誘い込んで頂きたい。因みに「かながわ子ども教室」には集団内ヒエラルキーはありません。偉い人も偉くない人もいません。「教室」経験回数の多い人と少ない人がいるだけです。そしてサポーターの充足を協議するための実行委員会、及びその前後のメールのやりとりを見ていると、会員の一人一人が“One for all”一人はみんなのために、“All for one”皆は一人のために、の精神で支え合い、協力し合って「教室」運営に当たっていることを知るのです。

素晴らしい仲間です！素晴らしい集団です！

これからも我々の「かながわ子ども教室」が何時までも盛大に続いていくことを期待しています。

本日は新旧大勢の会員の皆様と祝宴を楽しむことができました。

本当に素晴らしい記念日でした。

## 子ども教室 20周年記念パーティーについて

松下 恵造

かながわ子ども教室は本年8月に発足20周年を迎え、9月10日（13～16時）に横浜駅東口崎陽軒本店 4階ダイナスティウエストにて20周年記念パーティーを開催しましたので、式の次第を報告いたします。

参加者は来賓4名、賛助会員1名、OB・OG4名、会員29名+1名（松澤さんお嬢様が付添い）、合計39名となりました。

式の進行役を務める松下と平林さんから下記のご来賓をご紹介した後、小島理事長の挨拶から開始されました。

\*ダイヤ高齢社会研究財団 常務理事 高阪 肇様、企画調査部次長 佐藤博志様、シニアアドバイザー 森 義博様 \*長寿社会開発センター 元企画振興部長 薬師寺清幸様

1. 理事長挨拶：小島理事長

2. 来賓御挨拶：高阪様と薬師寺様からご挨拶をいただきました。

ご来賓の皆様から暖かいご祝辞を頂戴し、かながわ子ども教室の更なる発展に大きなご示唆を頂きました。

3. 乾杯と挨拶：ダイヤかながわ交流会 森 英敏代表

<食事/歓談> 歓談中にスライドショーで「10周年記念会の写真」と「教室風景」を投影。

4. 発足時からの代表、理事長紹介

お亡くなりになりましたが、羽佐田さんと新谷さん、そしてご出席の岡田さん。NPO法人化後の理事長は岡田さん、望月さん（ご欠席）、お亡くなりになりましたが、舟木さん、鳥居さん、そしてご出席の勝浦さん、小島さん。代表して岡田さんに挨拶をいただきました。

5. 発足時からの会員紹介

現在も会員の方として、松澤さん、岡田さん、西岡さん、白幡さん。次に、現在はダイヤかながわ交流会のみの会員の方として、田中さん、大竹さん。ご欠席の方として、佐久間さん、篠原さん、望月さん、繁本さん、近藤さん、森 哲さん。代表して最年長の松澤さんと次の年長の田中さんに挨拶をいただきました。

6. 10周年記念行事後に入会された会員の紹介

糸井さん、新井さん、薄口さん、金子さん、船木さん（ご欠席）、真瀬さん、野本さん（ご欠席）、牛窪さん（ご欠席）、諏訪さん、高橋信一さん、櫻田さん、尾山さん（ご欠席）、森山さん、白石さん。代表して最年長の金子さんと1958年生まれの櫻田さんに挨拶をいただきました。

7. 最近の教室のご紹介

6年前からの新規5教室について、各先生方から映像とPPTファイルを使って紹介いただきました。真空（諏訪さん）、たのしい実験室（安藤さん）、ふしぎな見え方（松村さん）、プログラミング（真瀬さん）、私たちのからだ（金子さん）。

8. 中締め：勝浦前理事長

中締めの後、参加いただいた皆様全員で記念撮影を行いました。



子ども教室 20 周年記念パーティーの集合写真

## かながわ子ども教室

松下 恵造

本年度の教室開催計画では、重点施策として「(1) 7 月、8 月は教室開催数を 20 度/月以下とする。(2) その他の月は 5 度/週以下とする。(3) (1)(2)を前提として、7 月、8 月以外の閑散期(5、6、9、10、12 月)での開催数を増加させる。」を入れることにより、年間を通して教室開催の平準化を図って年間開催数で 14 度の増加を目指し、年間 110~126 度(113~129 回)の開催を目途としました。

これまでの教室開催実績と今後の予定を下表にまとめました。比較のため、昨年度の実績も入れました。

<教室開催実績と今後の予定> ※ 斜体数字は今後の予定 (9月16日現在)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
2023 年	度数		1	10	16	18	7	7	12	7	9	10	10	107
	回数		1	10	17	20	7	7	12	7	9	13	11	114
2024 年	度数	2	1	12	14	14	<i>12</i>	<i>10</i>	<i>13</i>	<i>10</i>	<i>6</i>	<i>2</i>	<i>5</i>	<i>101</i>
	回数	2	1	12	16	14	<i>12</i>	<i>10</i>	<i>14</i>	<i>10</i>	<i>6</i>	<i>2</i>	<i>5</i>	<i>104</i>

9 月までの実績/見込みと 10 月~12 月の予定を見ると、昨年実績との比較で平準化は上手く進んでいると思われます。地区担当の皆様のご協力とご努力に感謝申し上げます。現時点では実績/予定の合計で 101 度(104 回)の開催見込みですが、今後主に 1 月~3 月の受注増加によって目途とした開催数まで増加することを願っています。

「かながわ子ども教室」の新入会員として、6 月に森山広思さん(S26 年生れ)、7 月に白石喜

裕さん（S33年生れ）が入会されました。お二人の今後のご活躍を大いに期待しております。2名の会員増加は大変嬉しく思いますが、今年度の入会人数の目標を5名にしていますので、会員の皆様の更なるご協力を宜しくお願いします。会員数は9月9日に竹内英二さんから休会の申請がありましたので、37名となります。